



帆が風をはらんだ
観光帆引き船
(10/31)

 玉迷

'94
広報

11月号
No. 412

30年ぶりに新造の帆引き船

観光用として活躍が期待

かつては霞ヶ浦のワカサギ漁として栄え、その
 勇姿が写真などで紹介されていた帆引き船が、こ
 のほど観光用として建造され、進水しました。こ
 十年前に姿を消した帆引き網漁法と帆引き船を、こ
 世に伝えようと、町から補助を受けて玉造漁業協
 同組合が建造したもので、十一月四日には完成祝
 賀式が行われました。帆引き船は今後観光用とし
 て玉造町のピアールに一役買うことになりそう。



初めて帆をあげた「玉造漁協丸」(10/31)

きつかけとなった

「霞ヶ浦シンポジウム」

建造された観光用帆引き船
 『玉造漁協丸』は、会長が約
 十一歳、最大幅二・三メートル、二・
 五メートル、馬力は二十馬力。帆柱
 が十二本のもう宗竹で、帆げ
 たが二十歳。綱の長さは三十
 メートルで、それを引くロープの長
 さが百メートル。
 帆をいっばいに広げて、風
 の力によって綱を引く漁法で
 霞ヶ浦にだけ伝わる独特のも
 の。建物された「玉造漁協丸」
 には自力で走れるようにジー
 ゼルエンジンが積み込まれて
 います。

帆引き船復活のきつかけと
 なったのは、昨年九月に町と
 常陽新聞社共催で開かれた「霞
 ヶ浦シンポジウム」。「町づ
 くり資源としての霞ヶ浦」を
 テーマに七人のパネラー（意
 見発表者）の発表がありまし
 た。そのうちの一人として発
 表した羽生誠玉造漁業協同組
 合長は

「昔より霞ヶ浦と言えば、
 筑波の眺めと水郷情緒、霞ヶ
 浦に浮かぶ帆引き船の風物詩
 であります。当町でも観光帆
 引き船の二艘も浮かべて撮
 影用の材料にすれば観光面で
 大いに役立つと思います。百
 年の歴史を持った霞ヶ浦独特
 の漁法をここで失うのは残念
 であります。現在六十歳ぐら
 いの方がこの技術を若い世代
 に受け継がないと、永久に悔
 を残すことになるのではない
 でしょうか…」

建造は田上さん親子

帆引き船の建造に取り組ん
 だのは、荒宿の船大工、田上
 一郎さんと勇一さん親子。材
 料の吟味から始めて、製材、
 さらに組み立てと職人技を十
 分に発揮。十月二十五日には
 進水式が行われました。
 三十年ぶりの木造船の進水

には一目見ようと大勢の皆さ
 んが集まり、ふなおろしを喜
 びました。田上造船所下の湖
 岸をすべりおりた木造船は大
 漁旗を掲げて沖を何回も旋回。
 荒宿漁港に入港した後、船か
 らもちがまかれて進水を祝い
 ました。

完成祝賀式に先だち、十月
 三十一日には帆をはっての漁
 法が試みられ、帆が風になび
 く勇姿に思わず「バンザイ」
 の声があがりました。

〈次頁へ〉



▶田上造船所を離れる
 「玉造漁協丸」(10/31)



▲荒宿漁港にもどってきた帆引き船
 (10/31)

完成祝賀式で一般公開に

十一月四日には、朝七時三十分からのNHK総合テレビで中継されたほか、「完成祝賀式」の招待者や報道関係者に帆引き船が披露されました。午前十一時から手賀の理崎荘で行われた「完成祝賀式」



祝賀会の様子

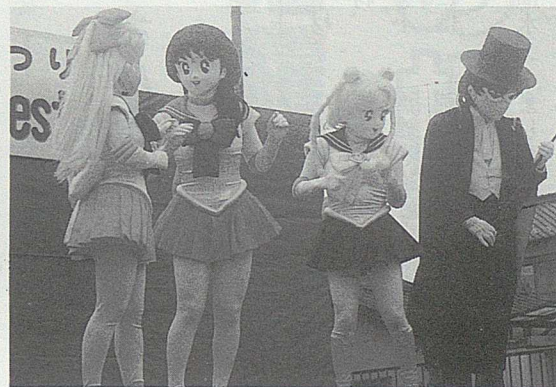
で、羽生組合長は「来年十月には本県主催による世界湖沼会議が、つくば市・土浦市を会場に開催され世界六十ヶ国の国々より三千人のお客が集ると聞きおよいでいます。その際に観光帆引き船を浮かべ世界の人々の目を楽しませて、本県の観光にも一役買いたいと思います」と式辞で豊富を述べました。つづいて理崎三副組合長が事業経過報告を述べたあと



鏡割り

セーラームーンが登場

『玉造商業まつり』が10月16日に、中央商店街通りで行われました。「セーラームーンショー」や「SL」が登場し、ちびっこたちでにぎわいました。



女の子に人気のセーラームーンショー

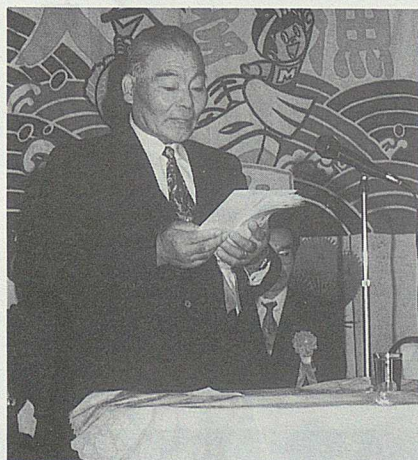


シャボン玉SL

坂本町長（代読）から、「二十一世紀を数年前にひかえ、いま自然環境の保全と文化遺産への関心が大きな高

まりを見せています。このようなかで三十年前に途絶えた帆引き船とその漁法が再現されますことは、まさに後世へ

のプレゼントです」との祝辞がよせられました。今後は一般客への観光用として活躍することになります。



式辞を述べる羽生組合長



事業経過報告をする理崎副組合長

福祉功労者を表彰

町社会福祉大会で

町の『社会福祉大会』が十月十九日に玉造町中公民館で行われ、福祉関係の仕事で功労のあった方々や団体が表彰されました。大会は、住民一人ひとりが幸せに安心して暮らせる福祉社会の実現を目指して開かれ、最後に記念講演が行われました。

助を賜りながら、表裏一体となった心の通った福祉施策を積極的に推進します」とあいさつ。

続いて、社会福祉関係の仕事で功績のあった十人と、町の善意銀行へ金銭を預託された社会福祉協働者の皆さんへそれぞれ表彰状及び感謝状が贈られました。

表彰された皆さんへ、来賓を代表して平間豊蔵玉造町議会議員と大塚常雄茨城県銚田地方福祉事務所長から祝辞が述べられました。大塚所長は県の福祉行政にも触れて「長期的な多種多用のプランがあるが、今後は世代間の交流が

表彰された皆さん

（敬称略）

▼玉造町社会福祉協議会長表彰
○民生委員・児童委員：小島道弘
○町職員：久保田清、高須敏美
○社会福祉団体職員：石塚栄子、前川綾子、立花妙子、阿部義彦、谷田富美子、白井悦子、山口君子

必要で地域での組織づくりとして「地域ケアシステム」を重要課題として取り組んでいきたい。」
受賞を代表して、玉造第一保育園主任保育士の石塚栄子さんが次のように謝辞を述べました。
「いま社会福祉に対する社会的な要請が高まりをみせているなかで、日頃社会福祉の仕事に携わる者として、思い

を新たにしています。私たち一人ひとりの力は微力ですがこれからも福祉の増進に努力していきたい。」
最後に、坂本俊彦玉造町社会福祉協議会副会長が「大会宣言」を読み上げ、大会の幕をとじました。なお、大会のなかで田谷利光土浦協同病院前農林健康管理センター所長の「健やかに老いる」と題する記念講演がありました。

▼玉造町社会福祉協議会長感謝状
○社会福祉協働者：大場正維、飯田徳夫、甲志ち、玉造ゴルフ倶楽部、玉川幼稚園、手賀幼稚園、玉造幼稚園、現原幼稚園、玉造西幼稚園、羽生幼稚園

○日本赤十字社玉造町区分区長感謝状並びに日本赤十字社銀色有功章伝達：株式会社サンケイハウジング



出席された皆さん



▶小島 道弘さん



▶久保田 清さん



▶石塚 栄子さん



▶甲 志ちさん

町の農業委員決まる

会長には井野孝夫氏



井野孝夫新会長

任期満了に伴う玉造町農業委員の選挙が十月五日に行われ、定員二十人（うち公選は十五人）のところで立候補者が十五人で、無投票で当選が決まりました。

十月二十日には第十回総会が開かれ、会長互選の結果、

沖洲の井野孝夫氏が会長に選ばれました。井野会長は農業委員五期目で、平成三年十月から農政部長に就任していました。

なお、会長代理に後藤葉氏、農地部会長に杉山忠平氏、農政部会長に平間圭一氏、農地

副部会長に石井幸次氏、農政副部会長に松金弘治氏がそれぞれ就任しました。
新しい農業委員の皆さんは次の方々です（敬称略）。
◆玉造町農業委員◆
大久保孝吉（荒宿二四七）公選
栗又 勝（荒宿一九八）公選
山口庄衛門（井上一八六〇）公選
高野 昭夫（井上四一九）公選
松金 弘治（西蓮寺六〇六）
野原一男（手賀一、毛）議会推薦
山本弘道（手賀五〇九一）公選
松金 勇手賀三、〇九三二二

栗山 豊甲（一八二）農協推薦
小島信男（甲六九六）公選
後藤 葉（甲三、五五〇）公選
神子田三男（甲五、六〇二）公選
杉山忠平（捻木五三七）公選
平間圭一（芹沢九二九）公選
石田 豊（芹沢一、五六六）
加固 進（浜一、四三）共済推薦
川島國男（浜五四五）公選
千ヶ崎武男（八木蒔三六九）
石井幸次（羽生一六九）公選
井野孝夫（沖洲四五二）公選

目ざそう

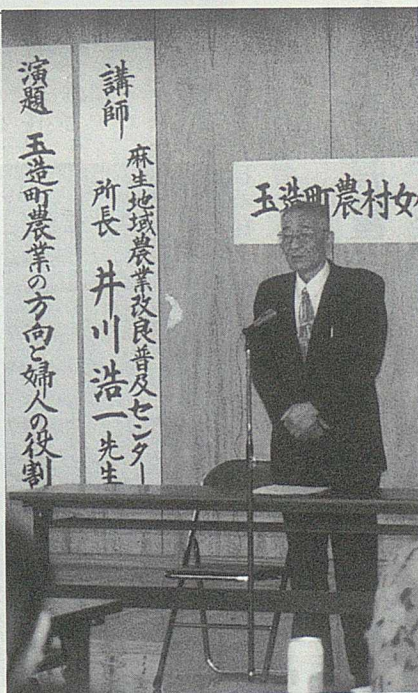
いきいきと自ら考え、実践し、行動する農業女性を育成しよう、玉造町農村女性地域社会活性化推進連絡会が発足。その発会式が十月二十五日に役場で行われました。

会員は、イチゴやエシヤレットなどの栽培に中核となつて頑張っている三十代、四十代の農村女性三十人。会長に川島広子さん（浜）、副会長に羽成君子さん（浜）と飯田浩子さん（竹の塙）がそれぞれ

れ選ばれました。

連絡会では、会員の研修や親睦を積極的にはかり、学んだ知識や技術を地域で広めるとともに農業経営の向上に生かすために、さまざまな事業を計画しています。

発会式では、会員一人ひとりに町から委嘱状が手わたされた後、麻生地域農業改良普及センターの井川浩一所長による『農業の方向と婦人の役割』と題する講話が行われました。



講演する井川浩一氏

いきいき実践を

玉造町農村女性地域社会活性化推進連絡会が発足

会員の皆さん（敬称略）

山口美佐子（荒宿二三五） 関口 邦子（甲一、五八二）
高野 幸子（荒宿二二四一） 根崎 和枝（若海七一）
栗又ひろ子（荒宿二五七一） 原田やえ子（若海五一〇）
安部久美子（荒宿二五三） 原田 久子（若海二六）
鈴木 君江（荒宿二六一一） 須貝美代子（谷島五七七）
関野 照子（井上一、四二〇） 久保田和枝（谷島一二二）
金塚ちよ子（井上一、六三二） 松葉 とめ（谷島一八〇）
田中 光子（西蓮寺二七九一） 石橋 静子（浜六四一）
小島 久子（西蓮寺三二二一） 川島 広子（浜五四五）
大森 和子（西蓮寺五八六） 羽成 君子（浜四五三）
小島喜美子（西蓮寺五六〇） 山口かつよ（羽生二〇三四）
田中 徳子（西蓮寺一、三二四） 井野 芳子（沖洲四五八一）
飯田 浩子（手賀二、四四二） 岡田 昌子（沖洲一七〇）
野原美代子（手賀二、〇四五） 粥川まち子（沖洲一、五八〇）
栗山とし江（甲一、九四四一） 山口 智子（沖洲四四四）



現地研修・県外視察・スポーツ交流など他町村との交流を通して、後継者育成・新規就農者との親睦をはかりながら、自分自身を研ぎ、後継者育成担手農業を育てて行きたいと思ひます。

行方郡は、温暖な気候と弱酸性なこえた土地を有し、また首都圏といった大消費地がかかえ、流通面においても何も心配することなく、出荷販売が出来、最適な場所に位置していると思ひます。

われわれ農業士会も、玉造町農林水産課、農協、普及所、農業関係各機関の協力を得て活動し、事務局を農林水産課にお願いして現在に至っています。

玉造農業士会は、水稲・野菜・花木・畜産といった各分野から、それぞれ第一線で活躍している経営士の会です。で、研究や自分自身の体験など、どこまかに話し合いをしながら足腰の強い農業を目指してまいりたいと思ひます。

がんばってます

大場 清史（県農業経営士）

昭和六十年代に水稲露地野菜経営として茨城県農業経営士として認定を受けました（水稲百四十アール、エシヤレット五十アール、切三葉四十アール、その他五十アール）。

鹿行、行方分会に於て現地研修会や県外研修などに参加して、後継者育成などに積極的にとり組んでまいりました。日本の農業も、最後の砦とも言ふべき米がウルグアイラ

ウンド交渉により米の輸入関税引下げ、食糧管理法の見直しなどで、大変な時期をむかえました。すべての農・畜産物の輸入自由化をむかえたことになったと思ひます。玉造町も同様だと思ひます。私達経営士会も、婦人農業士、青年農業士十四名が一同に会して、玉造町農業の発展の為に農業士会を結成して、

第33回 玉造町 産業文化祭

10月29日・30日
会場～霞ヶ浦ふれあいランド
中央公民館

玉造町産業文化祭が十月二十九日と三十日の二日間にわたり開かれました。

フリーマーケット



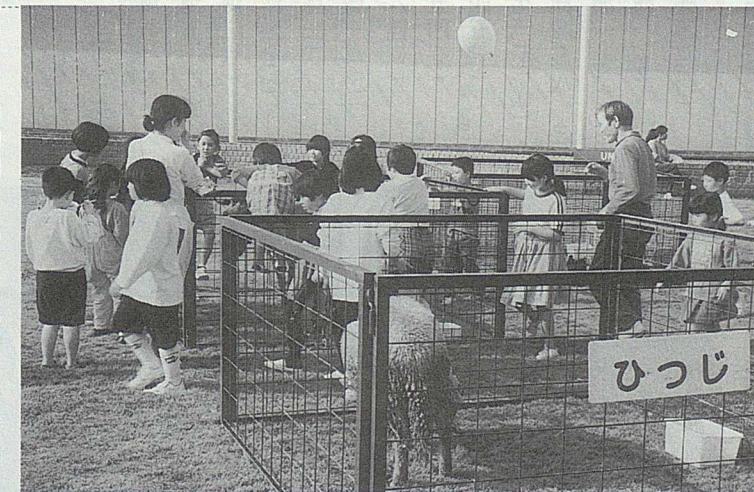
バナナ早ぐい
コンテスト



ペタン・ペタンとモチつき大会



ミニ動物園にこどもは大よろこび



小学生は
水あそび
が大好き



優秀商品展示即売会



茶会では作法の指導も

コイのつかみど
りにちよう戦す
るこどもたち



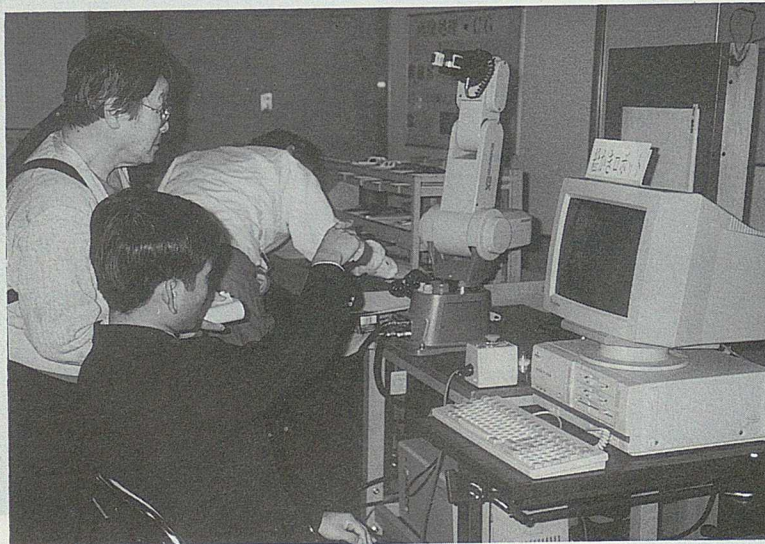
ピエロさんも
みんなの人気
もの



ピンポンボールつかみ大会



玉造工業高校生徒の工業実習と作品展では、ロボットを使った実習にビックリ……





民謡・民舞大会



生花展

わたしたちのふ
るさとはこん
なにも自然が！

ふるさとジュニア絵画展



ちびっ子広場ではフワフワトランポリン



自慢のノドを披露(詩吟)



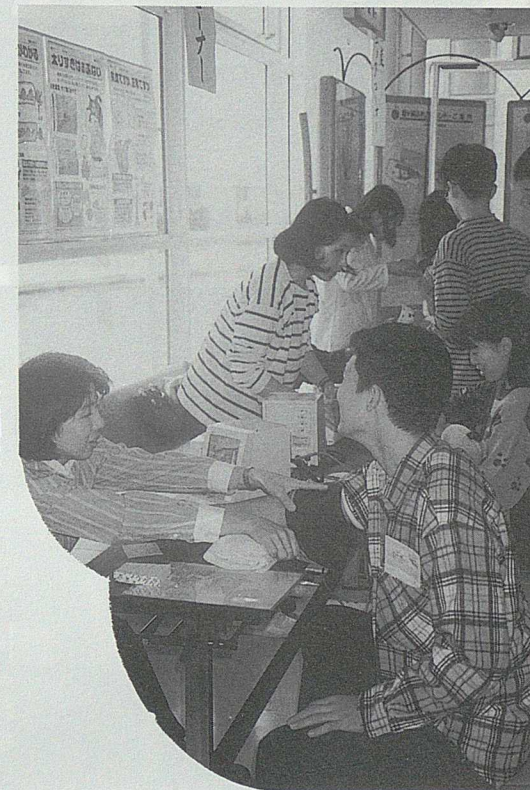
西小はやし(右)と羽生ばやし(左)



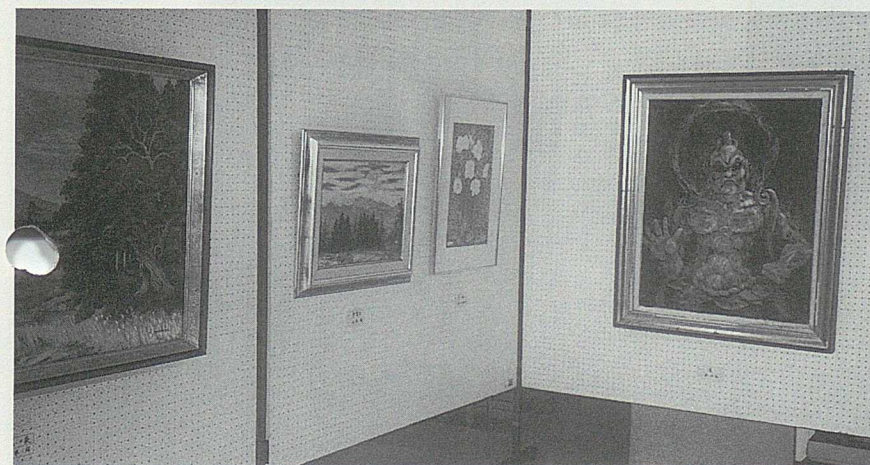
豪華商品がついたジャンケン大会



『健康づくりコーナー』では血圧測定も



美術展



菊花展も私たちの目を楽しませてくれました。



『ふるさとジュニア
絵画展』受賞者

玉造中学校生徒五百四十九
人からの応募があった『ふる
さとジュニア絵画展』の入賞
者は次のとおりです。

(敬称略)

◎金賞：石川愛(三年)

◎銀賞：平野悌志(三年)、

鈴木晴人(二年)

◎入選

〈三年〉石橋寿江、関口聡恵、

根崎千代美、小松崎みちこ、

沼間淳恵、萩原久美子、花形

由美、加藤ゆり、平間朋恵、

平間紀将、青木智子、大久保

妙子、森作麻子、内田智恵美、

坂本郁子、山口恵美

〈二年〉小島孝子、向山昌子、

茂木聡美、荒井由紀子、遠藤

麻美、山田祐子、小島恵海、

内藤恭子、大河真、武田美津

子、茂木洋介、

〈一年〉道川ひとみ、平間志

乃武、飯島佳奈子、千ヶ崎裕

美、根崎裕子、齋藤拓也、宮

河伸悟、野原步、野原孝幸、

堀江光、田宮祥子、荒木田悟

鬼澤奈穂子

総合優勝は芹沢区

町民運動会

スポーツの祭典「玉造町民運動会」が十一月三日に総合運動場で町民総出で行われ、ことしも芹沢区が総合優勝しました。競技の様子をスナツプで紹介します。

選手宣誓をする
小松崎利夫さん



入場行進スタート



むかで競争はチームワークが大事



イチ、ニー、
イチ、ニー...

お願いネ



ウーン、手がしびれる〜ノ



よーし、おいぬくぞノ



百歳リレー

競技成績

優 勝	二 位	三 位	四 位	五 位	六 位
総合成績	芹沢区	荒宿	上山	浜	竹の埦
出船入船					
羽生、三位沖洲					
(Aブロック)一位浜、二位					
(Bブロック)一位芹沢、二					
位荒宿、三位穂永					
百歳リレー男子					
(Aブロック)一位上山、二					
位谷島、三位中山					
(Bブロック)一位芹沢、二					
位荒宿、三位舟津					
百歳リレー女子					
(Aブロック)一位中山、二					
位上山・谷島、三位なし					
(Bブロック)一位芹沢、二					
位荒宿、三位舟津・宿					

◎種目別成績

▼出船入船

(Aブロック)一位浜、二位

(Bブロック)一位芹沢、二

位荒宿、三位穂永

百歳リレー男子

(Aブロック)一位上山、二

位谷島、三位中山

(Bブロック)一位芹沢、二

位荒宿、三位舟津

百歳リレー女子

(Aブロック)一位中山、二

位上山・谷島、三位なし

(Bブロック)一位芹沢、二



会長あいさつにたつ平間町議会議長

小座山^{チム}が優勝、八木^{チム}は三位

消防ポンプ操法行方地区大会

『第四十五回茨城県消防ポンプ操法大会行方地区大会』が、十月十四日に北浦村第二グラウンドで行われ、玉造町から出場した小座山（第二分団第五部）チームが優勝、八木^{チム}（第五分団第三部）チームが三位に、それぞれ入賞しました。

大会には、郡内五町村から自動車ポンプの部、小型ポン

プの部に、それぞれ代表チームが出場し操法を競ったものです。

玉造町が小型ポンプの部で優勝したのは六年ぶりのこと。行方地区大会に出場した選手は次の皆さんです。（敬称略）

◎小型ポンプの部優勝
小座山（第二分団第五部）

指揮者：堀田 悟
一番員：野原賢一

二番員：森田莊一郎
三番員：飯田 勇
補 欠：堀 昭夫

◎自動車ポンプの部第三位
八木^{チム}（第五分団第三部）

指揮者：小松崎信一
一番員：神林 一典
二番員：原田章治
三番員：貝塚正実
四番員：栗原文和
補 欠：久米正城

文芸

短歌

時々に創作混る友の話心軽き
日可愛ゆしと聞く

鈴木 節子

舗道にあたる冬陽寂かにて
帰りゆく戦友の義足は響く

小沼 正蔵

子育ては子も伸びゆきつ両親
も世を識り人の親とし育つ

大和田 まさる

夫と二人仕事離れて乗る電車
過ぎ行く景色目に新しき

高塚 麻子

沈みく夕日背負ひて秋桜影絵
となりて舞える幻想

鈴木 和代

おごそかに神住む山は明け初
めて三峰山に朝日さし来ぬ

島田 敏子

午前三時朝刊配るバイク来て
活字の告げる昨日この頃

鈴木 夢情

ある時は叱り励ましたりし母
の早くも逝て七回忌法要

久米 妙子

生垣の山茶花の花満ちみちて
老いの隠居も花やぎてきぬ

郡司 春枝

山里の暮し伝うる放映に心豊
かに永遠を生きたし

菅谷 富栄

秋空に残る柿の実あかあかと
夕日に映えて風に揺れ居る

大久保 和子

水運に栄へし記念の時計塔水
に映りて時を告げをり

八木 みさほ

俳句教室

短日や由緒読みとるさざれ石
一すじの雲を伴ひ月出ずる

八木 草苑

水鳥の近寄る静声の花

永野 一碩

穂芒の競う背伸びに夕陽果つ

鈴木 夢情

故郷の枸杞赤き実透し亡母忍ぶ

石毛 正子

六十を越し秋耕の鎌をとる

大和田 秋海棠

たつぷりと蛙に乱れる秋桜

飯島 那

庭萩に裾をかばいて訪れる

長谷川 鶏頭子

月ついにぬれ障子たて十三夜

茂木 孝子

蝶一つ河面を渡る秋日和

飯島 伸子

草紅葉旅のはじめの彩として

小島 てる代

美容室鏡の奥に秋桜

遠藤 輝子

大空へ逆さに吊す唐辛子

武田 淳子

碓昇りつめたとくろ薄紅葉

小谷 草洞

お社にこれ椎の実の落ちる音

山野 草月

柿落葉絵皿に欲しき紅化粧

鈴木 和代

俚謡教室

兼題「名月赤城山」

天も高々大空晴れて
すいと秋引く赤トンボ 幾代
そつと雲間へかくれた気でも
透いて見えます朧月 竹堂
蒼い月影安らに受けて
土手のすきも風まかせいなほ
他人にや教えぬきのこの在り
か そつと秘密の城を持つ 久子

月を見るより団子の皿に
孫がちよくちよく手を伸ばす
帰るあてない年月数え
登る人生六十路坂 栄子

赤字家計をやり繰る妻の
髪のはつれに見る苦勞 有美
秋の夕映え出島の城に
「あなた」素通と手をかざす茶水
赤く咲いても日蔭の花よ
雨にひっそり彼岸花 藤娘

遠い異郷で見上げる月に
偲ぶ父母山や川 才依

忍ぶ悪魔の爪あと地獄

夢か現つか瓦礫山 せい子

秋の名月すつきり映えて
今宵さわか夢心地 昭千

アジア大会ようこそ日本
腕をそつて名を残す 咲子

愛しあつて噂の二人
青い月夜の影法師 しず女

澄んだ秋空さ波みたい
日和飛びまう赤蜻蛉 育子

雨の竜神吊橋高く
山を彩る傘の列 釣月

地位も名誉も農家にやないが
秋にや稔りの幸がある喜代

今宵お月見す、きをどうぞ
思いがけない午後の駅 美代

急な計報と月並みのべて
知らぬ縁者と通夜の席 正人

赤い裾除けちらちらさせて
差す手引く舞扇 きよ女

寝ても覚めても浮かばぬ俚謡

おしらせ

県民運動の 名称を募集

茨城県では、県民の皆さん
誰もが茨城に生まれ、住んで
よかったと思えるような地域
づくりをめざしています。
こうした地域づくりには、

県民の皆さんがみんなで力を
あわせることが必要です。そ
こで、明日のいばらきをつく
るための、県民の皆様に親し
まれやすい、県民運動の名称
（キャッチフレーズ）を募集
します。

▼応募資格 県内在住か、ま
たは県内に通勤している方
▼応募方法 官製はがきに名
称（できるだけ短い言葉で）、
その意味や理由（五十文字以内）、
住所、氏名、電話番号を記入
のうえ、応募先へ郵送してく
ださい。

▼締切り 十二月十五日（休）
▼応募先・問い合わせ先 県
生活環境部生活文化課生活担
当（〒311-0100 水戸市三の丸
一五三三八） ☎〇二九二一
二四一九四一

十一月は個人事業 税第二期分の納期 です

個人事業税は、県内に事務
所や事業所を設け事業を営ん
でいる個人の方に前年中の所
得金額に対して課税される税
金です。

納期は八月と十一月の二期
に分かれています。今月はそ
の第二期分の納期となっております。
納期限は十一月三十日です。
期限内に完納されるよう
お願いします。

なお、個人事業税の納税に
は口座振替制度もあります。
詳しくは、茨城県麻生県税事
務所（☎〇二九九七二〇
七七二）へお問い合わせくだ
さい。

鹿行地域 農業フォーラム'94

▼テーマ 「いきいき農業ゆ
たかなくらし 食とみどりを
未来につなぐ」

▼日時 十二月一日（木）午前十
時三十分～午後三時



11月は「全国青少年健全育成強調月間」

善意銀行へ

○% 成島政雄さんから二
十万円（玉寿荘へ）
○% 地域婦人団体連絡会か
ら一万九千八百一十四円（産業
文化祭のフリーマーケットの
収益の一部）
○% 高橋整体院から一万八
千二百十円

暮らしのワザポイント

日本人の生活様式も欧米化が進み、家の間取りにも洋室が多く取り入れられています。床はフローリングがいまのはやりですが、カーベツトを敷いている家庭も多いでしょう。ふわふわとした肌触りは、気持ちのいいものです。

ところが、カーベツトはまめに掃除をしないとダニなどの虫やカビなどの細菌類の「格好の住み家」となってしまう。家族が安心して過ごせる、カーベツトの掃除を紹介しましょう。

カーベツトの掃除

カーベツトの敵は、ほこりです。ほうつておく、と繊維の中にたまり、毛足の奥まで入り込み、カーベツトの寿命を縮めます。表面のほこりを、毎日まめに取りましよう。手でローラー式の掃除機か粘着テープを使えば、表面にある髪の毛やベツトの毛などは、簡単に取れます。

表面のほこりを一通り取ったら、電気掃除機をかけましよう。毛足の長いカーベツトには、細口のノズルを使つてください。

ほこりをまめに取る

奥まで入ったほこりを、吸い取ることができません。電気掃除機での掃除が終わったら、水ぶきをします。汚れの程度によりますが、週に一度はふきましよう。ぬるま湯で固く絞ったぞうきんで、表面に水分を残さないように力をこめてふきます。その後で、空ぶきをしてください。

また、月に一度は洗剤を使つて、ふき掃除をする。その後、洗剤を残さないよう、お湯で固く絞ったぞうきんでよくふきます。こつすると、毛足の奥のほこりまできれいに取れます。

ここで注意したいのは、洗剤液を使うと色落ちするカーベツトがある。お湯でふくときに、酢を入れましよう。酢には中和作用があり、色落ちを防ぎます。



基本的人権をより大切に

12/4～12/10は「人権週間」

毎年12月4日から10日までは「人権週間」です。これは、1948年12月10日国際連合総会で「世界人権宣言」が採択された日を記念して始められたもので、本年は46回目に当たります。

人権週間は、憲法によって保障されている基本的人権をより一層大切にするよう、改めて考えてみるための週間です。

私たちの社会には、自己の権利・利益のみを主張して他人の立場をかえりみないという自己中心的な考えや行動により人権を侵害していることがあります。

人権は、自分と同じように他人にもあることを認識し、お互いに相手の立場を考え豊かな人間関係をつくりましよう。

- 水戸地方法務局—
- 茨城県人権擁護委員連合会—

と ころ		赤 ちゃん		続 柄		保 護 者	
諸 井	鈴 木	小 林	鈴 木	二 女	久 男	保 護 者	
中 山	市 村	芳 彦	芳 彦	長 男	倫 明		
羽 生	井 野	貴 光	貴 光	長 男	一 実		
若 海	大 輪	菜 摘	菜 摘	長 女	正 美		
緑ヶ丘	原 田	拓 実	拓 実	長 男	靖 文		
高 須	古 渡	祐 太	祐 太	二 男	武 文		
横 須	新 堀	紗 也	紗 也	長 女	義 英		
若 海	樽 見	祐 美	祐 美	長 女	和 巳		
泉	大 場	友 彦	友 彦	長 男	由 雄		
八木 蒔	千ヶ崎	しおり	しおり	長 女	智 雄		
横 町	伊 藤	大 貴	大 貴	長 男	光 男		
諸 井	河 野	拓 也	拓 也	二 男	正 一		

※掲載を望まないときは、届出の際か、もしくは役場企画商工課(☎五五〇一一二)へご連絡ください。

横 須 賀		瀧 崎		龍 太 郎		年 齢	
羽 生	要 田	喜 江	喜 江	六 三	七 九		
西 蓮 寺	出 沼	光 光	光 光	六 九	七 五		
諸 井	橘 川	幾 次 郎	幾 次 郎	七 五	七 三		
中 山	石 田	ワ ク リ	ワ ク リ	一 六	六 九		
諸 井	齊 藤	宣 崇	宣 崇	六 七	六 七		
緑ヶ丘	内 藤	宏 博	宏 博				
上 山	関 口	博	博				

誕生おめでとう
おめでとうございます

出産
(10月受け付け分)

おちやみき
おめでとうございます

死 亡
(10月受け付け分)

平成6年11月25日発行 (No.412)

発行/玉造町役場

編集/企画商工課

茨城県行方郡玉造町甲四〇四

TEL 0299-550111 FAX 0299-550101